

ぴんぼーん♪

支援便り第80号
令和5年10月発行

家庭教育支援事業 子育て支援課

令和5年度 白老町子育て講座

身近な自然と子育て

～こどものあり方 親としてのあり方 外あそびの魅力～

一般社団法人new education LittleTree 代表 野村直子氏

9月3日に開催した講座には、子育て中のお父さんお母さんをはじめ、保育士さんや子育て支援関係者16名の参加がありました。

講話を通して野村先生の具体的な実践例がたくさん聞けました。

フィールドワークでは、親子で近くの広場まで散策しながら、自然に触れ楽しむ事ができました。先生から、外遊びのポイントを教えていただき、見慣れた景色も新たな視点で見ることができました。



講話でお話ししていただいた内容をいくつかご紹介します。



★ こどもの捉え方

★ひとつひとつの体験が心とからだを育んでいる

・子どもは自然に対して、おとなとは違った感じ方をしています。

同じ木の枝1本も、ある子は杖、ある子は何かの材料に…と、一人ひとりの想像・創造は全く違うものなのです。

★ おとなのあり方

★結果よりもプロセスを

・子どもが自然を通して感じていることを安心安全に行えるよう見守ってあげることが大切です。

・最初から上手くできないことも、貴重な体験です。タイミングを見て、声掛けを行っていきましょう。

★ 外遊びの魅力

★無限の体験と刺激が存在する

・子どもたちは、自由な発想を持っていて、大人が考えるよりもずっと面白い遊びを作り出す力があります。



宝物
みつけたよ♪



★こどもの中の自然性

・自然の中にはたくさんの素材があり、季節や場所によって変化する環境もあります。

その中で、子ども達自身が自分で考えて取り組んでいく力を育てていくことが大切です。



- おとなが頑張って公園に連れて行く必要はありません。
- こどもは家の近所でもそこにある自然を通して学んでいることがたくさんあります。

参加者の感想

- ★とてもステキな話が聞けよかったです。
子どもにやらせることを、もっとさせたいと思いました。失敗、危険をさけることなく・・・
- ★自然がたくさんある白老町、今日のような内容がもっと広くひろがり、もっと子どもを信じて楽に子育てが出来たらとっても良いことだなあと感じました。
- ★自然の中で過ごす時の子どもがどう感じているか大人が少し引いてみることで、身体能力、経験をみながらチャレンジや失敗もさせてあげること、とっても大切なことだと思いました。
- ★“心がうごく成長する”先生のお話を聞かせていただいて、もっと肩の力を抜いていいんだなあとホッとできました。子どものことを、よく観察して見守っていきたいと思います。
- ★もっと多くの人に聞いてもらいたかったです。あらためて体験の大切さを学ばせていただきました。

支援員のお気に入り

私は、2人の子育てをしてきました。以前住んでいた町と白老町、両方で図書館を利用していました。

絵本のコーナー、季節イベントの本の紹介があったり、子どもが幼児の時から楽しませてもらっていました。

親としては、いろんな本を楽しんでほしいと思っていても、前に借りた本をまた何回か借りたりした事も…（そんなに好きなら、と購入した本も）

「いつもより小さな声でお話してね」、返却するのに行く日を予定したり…など、今思えば、子どもとの約束をするのによかったのかなと。

ちょっとした事で親子で楽しめる事があります。

図書館が
おすすめです！



今回は、石川 久美子が
担当しました。



「どうしたら？」や聞いてほしい事がありましたら、気軽に家庭教育支援チームにお声かけ下さい。

～いつでも・どこでも・速やかに、子育て情報届けます～

相談・講師派遣、家庭教育支援活動についてのお問合せはこちらまで

★訪問型家庭教育支援員

090-1528-9018

または

★白老町子育て支援課

0144-85-2021